

当座勘定規定（専用約束手形口用）

目 次

1. 当座勘定規定(専用約束手形口用)	1 頁
1. 約束手形用法	7 頁
1. 用紙見本	8 頁

《お 願 い》

○この当座勘定規定は、今後の当座勘定取引の基本となるものですからいつでも
ご覧いただけるようお手許にお備えおきください。

長野信用金庫

《当座勘定規定(専用約束手形口用)》

第1条 (当座勘定への受入れ)

1. 当座勘定には、現金のほか、手形、小切手、利札、郵便為替証書、配当金領収書その他の証券で直ちに取立てのできるもの（以下「証券類」といいます）も受入れます。
2. 手形要件、小切手要件の白地はあらかじめ補充してください。当金庫は白地を補充する義務を負いません。
3. 証券類のうち裏書等の必要があるものは、その手続きを済ませてください。
4. 証券類の取立てのため特に費用を要する場合には、店頭掲示の代金取立手数料に準じてその取立手数料をいただきます。

第2条 (証券類の受入れ)

1. 証券類を受入れた場合には、当店で取立て、不渡返還時限の経過後その決済を確認したうえでなければ、支払資金としません。
2. 当店を支払場所とする証券類を受入れた場合には、当店でその日のうちに決済を確認したうえで、支払資金とします。

第3条 (本人振込み)

1. 当金庫他の本支店または他の金融機関を通じて当座勘定に振込みがあった場合には、当金庫で当座勘定元帳へ入金記帳したうえでなければ、支払資金としません。但し、証券類による振込みについては、その決済の確認もしたうえでなければ、支払資金としません。
2. 当座勘定への振込みについて、振込通知の発信金融機関から重複発信等の誤発信による取消通知があった場合には、振込金の入金記帳を取消します。

第4条 (第三者振込み)

1. 第三者が当店で当座勘定に振込みをした場合に、その受入れが証券類によるときは、第2条と同様に取扱います。
2. 第三者が当金庫他の本支店又は他の金融機関を通じて当座勘定に振込みをした場合には、第3条と同様に取扱います。

第5条 (受入証券類の不渡り)

1. 前三条によって証券類による受入れまたは振込みがなされた場合に、その証券類が不渡りとなったときは、直ちにその旨を本人に通知するとともに、その金額を当座勘定元帳から引落とし、本人からの請求がありしだいその証券類は受入れた店舗、または振込みを受付けた店舗で返却します。但し、第4条の場合の不渡証券類は振込みをした第三者に返却するものとし、同条第1項の場合には、本人を通じて返却することもできます。
2. 前項の場合には、あらかじめ書面による依頼を受けたものにかぎり、その証券類について権利保全の手続きをします。

第6条 (手形、小切手の金額の取扱い)

手形、小切手を受入れまたは支払う場合には、複記のいかんにかかわらず、所定の金額欄記載の金額によって取扱います。

第7条 (手形の支払)

1. この当座勘定からは、呈示期間内に支払のため呈示された専用約束手形にかぎって支払います。その他の手形、小切手の支払はしません。

2. 前項の支払いにあたっては、手形の振出しの事実の有無を確認すること（その旨について書面の交付を求めることを含みます）があります。
3. 当座勘定の払戻しの場合には、当金庫所定の請求手続をしてください。

第8条（手形用紙）

1. 当店を支払場所とする専用約束手形を振出す場合には、当金庫が交付した用紙を使用してください。
2. 当座勘定から支払をした専用約束手形のうちに、本人が振出したものではない手形や改ざんが疑われるものがあつた場合には、直ちに当金庫宛に連絡してください。
3. 手形用紙の請求があつた場合には必要と認められる枚数を交付します。
4. 専用約束手形用紙以外の手形用紙および小切手は交付しません。
5. 当座勘定から支払をした専用約束手形の用紙はその支払月から3か月を経過した場合は返却を求めることができないものとします。
6. 前項の期間を経過した場合において、預金者から請求があつたときは、当金庫所定の手続きによって当該手形の写しを交付します。ただし、当金庫が定める写しの保管期限を経過した場合は、その限りではありません。

第9条（手数料）

1. 割賦販売通知書1枚につき、口座開設料として、当金庫所定の手数料を支払ってください。
2. 前条の手形用紙の交付を受けるにあたっては、当金庫所定の手数料を支払ってください。

第10条（支払の範囲）

1. 呈示された手形の金額が当座勘定の支払資金をこえる場合には、当金庫はその支払義務を負いません。
2. 呈示された手形は、呈示日の15時までには当座勘定に受入れまたは振込まれた資金により支払います。ただし、当金庫の裁量により15時以降に入金した資金を支払に充当することもできるものとします。
3. 手形の一部支払はしません。

第11条（支払の選択）

同日に数通の手形の支払をする場合にその総額が当座勘定の支払資金をこえるときは、そのいずれを支払うかは当金庫の任意とします。

第12条（印鑑等の届出）

1. 当座勘定の取引に使用する印鑑（または署名鑑）は、当金庫所定の用紙を用い、あらかじめ当店に届出てください。
2. 代理人により取引をする場合には、本人からその氏名と印鑑（または署名鑑）を前項と同様に届出てください。

第13条（届出事項の変更）

1. 手形、手形用紙、印章を失つた場合、または印章、名称、商号、代表者、代理人、住所、電話番号その他届出事項に変更があつた場合には、直ちに書面によって当店に届出てください。
2. 前項の届出の前に、届出を行わなかったことにより生じた損害については、当金庫は責任を負いません。
3. 第1項による届出事項の変更の届出がなかったために、当金庫からの通知又は送付する書類等が延着し、または到達しなかった場合には、通常到達すべき時に到着したものとみなします。

第14条（成年後見人等の届出）

1. 家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合には、直ちに書面によって成年後見人等の氏名その他必要な事項をお届けください。
2. 家庭裁判所の審判により、任意後見監督人の選任がなされた場合には、直ちに書面によって任意後見人

の氏名その他必要な事項をお届けください。

3. すでに補助・保佐・後見開始の審判を受けている場合、または任意後見監督人の選任がなされている場合にも、第1項、第2項と同様に、直ちに書面によってお届けください。
4. 第1項から第3項の届出事項に取消または変更等が生じた場合にも同様に、直ちに書面によってお届けください。
5. 第1項から第4項の届出の前に生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

第15条（印鑑照合等）

1. 手形、請求書、諸届け書類に使用された印影または署名（電磁的記録により当金庫に画像として送信されるものを含まず）を、届出の印鑑（または署名鑑）と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いしましたうへは、その手形、請求書、諸届け書類等につき、偽造、変造その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当金庫は責任を負いません。
2. 手形として使用された用紙（電磁的記録により当金庫に画像として送信されるものを含まず）を、相当の注意をもって第8条の交付用紙であると認めて取扱いしましたうへは、その用紙につき模造、変造、流用があっても、そのために生じた損害については、前項と同様とします。
3. この規定及び別に定める約束手形用法に違反したために生じた損害についても、第1項と同様とします。

第16条（振出日、受取人記載もれの手形）

1. 手形を振出す場合には、手形要件をできるかぎり記載してください。もし、振出日又は受取人の記載のない手形が呈示されたときは、その都度連絡することなく支払うことができます。
2. 前項の取扱いによって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

第17条（自己取引手形等の取扱い）

1. 手形行為に取締役会の承認、社員総会の認許その他これに類する手続を必要とする場合でも、その承認等の有無について調査を行うことなく、支払をすることができます。
2. 前項の取扱いによって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

第18条（利息）

当座預金には利息をつけません。

第19条（残高の報告）

当座勘定の受払または残高の照会があった場合には、当金庫所定の方法により報告します。

第20条（譲渡、質入れの禁止）

この預金は、譲渡または質入れすることはできません。

第21条（反社会的勢力との取引拒絶）

この当座勘定は、第22条第2項各号のいずれにも該当しない場合に利用することができ、第22条各号の一にでも該当する場合には、当金庫はこの当座勘定の開設をお断りするものとします。

第22条（解約）

1. この取引は、当事者の一方の都合でいつでも解約することができます。但し、当金庫に対する解約の通知は書面によるものとします。
2. 第1項のほか、次の各号の一にでも該当し当金庫が取引を継続することが不適切である場合には、当金庫はこの取引を停止し、または解約の通知をすることによりこの当座勘定を解約することができるものとします。なお、この解約によって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。また、この解約により当金庫に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。

（1） 当座勘定開設申込時に表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合

(2) 本人〔本当座勘定の名義人（当座勘定の名義人が法人の場合には、当該法人の役員等を含む。以下同じ。）が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当し、または次のいずれかに該当することが判明した場合

- ① 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
- ② 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
- ③ 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
- ④ 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
- ⑤ 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること

(3) 本人が、自らまたは第三者を利用して次のいずれか一にでも該当する行為をした場合

- ① 暴力的な要求行為
- ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
- ③ 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
- ④ 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当金庫の信用を毀損し、または当金庫の業務を妨害する行為
- ⑤ その他前各号に準ずる行為

3. 当金庫は、支払資金預入れの再三にわたる遅延、支払の停止その他相互の信頼関係が失われた場合には、いつでもこの取引を解約することができます。
4. 当金庫が解約の通知を届出の住所にあてて発信した場合に、その通知が延着し又は到達しなかったときは、通常到達すべき時に到達したものとみなします。
5. 手形交換所の取引停止処分を受けたために、当金庫が解約する場合には、到達のいかんにかかわらず、その通知を発信した時に解約されたものとします。
6. 手形用紙の交付枚数のいかんにかかわらず、毎年3月と9月の当金庫所定の日においてこの当座勘定の受払が6カ月間なかった場合には、取引はその日に終了するものとします。また、その所定の日において交付枚数のすべてが引落されている場合にも同様とします。

第23条（取引終了後の処理）

1. この取引が終了した場合には、その終了前に振出された手形であっても、当金庫はその支払義務を負いません。
2. 前項の場合には、未使用の手形用紙、小切手用紙は直ちに当店へ返却するとともに、当座勘定の決済を完了してください。

第24条（手形交換所規則による取扱い）

1. この取引については、前各条のほか、関係のある手形交換所の規則に従って処理するものとします。
2. 関係のある手形交換所で災害、事変等のやむをえない事由により緊急措置がとられている場合には、第7条の第1項にかかわらず、呈示期間を経過した手形についても当座勘定から支払うことができるなど、その緊急措置に従って処理するものとします。
3. 前項の取扱いによって生じた損害については、当金庫は責任を負いません。

第25条（保険事故発生時における預金者からの相殺）

1. この預金は、当金庫に預金保険法に定める保険事故が生じた場合には、本各条項の定めにより相殺することができます。なお、この預金に、預金者の当金庫に対する債務を担保するため、もしくは第三者の当金庫に対する債務で預金者が保証人となっているものを担保するために質権等の担保権が設定されている場合にも同様の取扱いとします。
2. 相殺する場合の手続きについては、次によるものとします。
 - （1） 相殺通知は書面によるものとします。
 - （2） 複数の借入金等の債務がある場合には充當の順序方法を指定してください。ただし、この預金で担保される債務がある場合には当該債務から、または当該債務が第三者の当金庫に対する債務である場合には預金者の保証債務から相殺されるものとします。
 - （3） 前項の充當の指定のない場合には、当金庫の指定する順序方法により充當いたします。
 - （4） 第2号による指定により、債権保全上支障が生じるおそれがある場合には、当金庫は遅滞なく異議を述べ担保・保証の状況等を考慮して、順序方法を指定することができるものとします。
3. 相殺する場合の借入金等の債務の利息、割引料、遅延損害金等の計算については、その期間を相殺通知が当金庫に到達した日までとして、利率、料率は当金庫の定めによるものとします。また、借入金等を期限前弁済することにより発生する損害金等の取扱いについては当金庫の定めによるものとします。
4. 相殺する場合の外国為替相場については当金庫の計算実行時の相場を適用するものとします。
5. 相殺する場合において借入金の期限前弁済等の手続きについて別の定めがあるときには、その定めによるものとします。ただし、借入金の期限前弁済等について当金庫の承諾を要する等の制限がある場合においても相殺することができるものとします。

第26条（休眠預金等活用法に係る最終異動日等）

この預金について、休眠預金等活用法における最終異動日等とは、次に掲げる日のうち最も遅い日をいうものとします。

1. 当金庫ウェブサイトに掲げる異動が最後にあつた日
2. 当金庫が預金者等に対して休眠預金等活用法第3条第2項に定める事項の通知を發した日。ただし、当該通知が預金者に到達した場合または当該通知を發した日から1か月を経過した場合（1か月を経過する日または当金庫があらかじめ預金保険機構に通知した日のうちいずれか遅い日までには通知が預金者の意思によらないで返送されたときを除く。）に限ります
3. この預金が休眠預金等活用法第2条第2項に定める預金等に該当することとなつた日

第27条（休眠預金等代替金に関する取扱い）

1. この預金について長期間お取引がない場合、休眠預金等活用法にもとづきこの預金に係る債権は消滅し、預金等は、預金保険機構に対する休眠預金等代替金債権を有することになります。
2. 前項の場合、預金者等は、当金庫を通じてこの預金に係る休眠預金等代替金債権の支払を請求することができます。この場合において、当金庫が承諾したときは、預金者は、当金庫に対して有していた預金等預金債権を取得する方法によって、休眠預金等代替金債権の支払を受けることができます。
3. 預金者等は、第1項の場合において、次に掲げる事由が生じたときは、休眠預金等活用法第7条第2項による申出および支払の請求をすることについて、あらかじめ当金庫に委任します。
 - （1） この預金について、振込み、口座振替その他の方法により、第三者からの入金または当金庫からの入金であつて法令または契約に定める義務にもとづくもの（利子の支払に係るものを除きます。）が生じたこと

- (2) この預金について、手形または小切手の提示その他の第三者による債権の支払の請求が生じたこと（当金庫が当該支払請求を把握することができる場合に限り、）
 - (3) この預金に係る休眠預金等代替金の支払を目的とする債権に対する強制執行、仮差押えまたは国税滞納処分（その例による処分を含みます。）が行われたこと
 - (4) この預金に係る休眠預金等代替金の一部の支払が行われたこと
4. 当金庫は、次の各号に掲げる事由を満たす場合に限り、預金者等に代わって第3項による休眠預金等代替金の支払を請求することを約します。
- (1) 当金庫がこの預金に係る休眠預金等代替金について、預金保険機構から支払等業務の委託を受けていること
 - (2) この預金について、第3項第2号に掲げる事由が生じた場合には、当該支払への請求に応じることを目的として預金保険機構に対して休眠預金等代替金の支払を請求すること
 - (3) 前項にもとづく取扱いを行う場合には、預金者等が当金庫に対して有していた預金債権を取得する方法によって支払うこと

第28条（規定の変更等）

1. この規定の各条項は、金融情勢その他諸般の状況変化、その他適切な事由があると認められる場合には、民法第548条の4の規定に基づき変更するものとします。
2. 第1項によるこの規定の変更は、変更を行う旨および変更後の規定の内容ならびにその効力発生時期を、店頭表示および当金庫ホームページへの掲載またはその他適切な方法で公表することにより、周知します。
3. 第1項および第2項による変更は、公表の際に定める1か月以上の適切な期間を経過した日から適用するものとします。

以上

令和5年8月23日

《約束手形用法》

1. この手形用紙は、当店における貴方名義の当座勘定にかぎり使用し、他の当座勘定に使用したり、他人に譲り渡すことはしないでください。
2. 手形のお振出しにあたっては、金額、住所、支払期日を明確に記入し、記名なつ印に際しては、当店へお届けのご印章を使用してください。住所の記載があれば振出地の記入は省略することができます。なお、改ざん防止のために消しにくい筆記具を使用してください。
3. 振出日、受取人の記載は、手形要件となっておりますから、できるだけ記入してください。
4. (1) 金額は所定の金額欄に記入してください。
 (2) 金額をアラビア数字（算用数字、1、2、3…）で記入するときは、チェックライターを使用し、金額の頭には「¥」を、その終りには「※」、「☆」などの終止符号を印字するほか、3桁ごとに「,」を印字してください。なお、文字による複記はしないでください。
 (3) 金額を文字で記入するときは、文字の間をつめ、下表の文字一覧のとおり改ざんしにくい文字を使用し、金額の頭には「金」をその終りには「円」を記入してください。また、崩し字は使用せず、楷書で丁寧に記入してください。
 (4) 金額欄には、第2項または第3項に掲げる事項以外の記入は一切行わないでください。特になつ印や金額の復記が金額欄に重なることがないようにしてください。
5. 金額を誤記されたときは、訂正しないで新しい手形用紙を使用してください。金額以外の記載事項を訂正するときは訂正箇所にお届け印をなつ印してください。ただし、訂正の記載やなつ印が、金額欄、銀行名、QRコード欄に重なることがないようにしてください。
6. 手形用紙の右上辺、右辺ならびに下辺（クリアーバンド）などの余白部分（《用紙見本》斜線部分）は使用しないでください。また、記名なつ印や金額の復記がQRコード欄に重なることがないようにしてください。
7. 手形用紙は大切に保管し、万一、紛失、盗難などの事故があったときは、当金庫所定の用紙により直ちに届け出てください。
8. 手形用紙は、当金庫所定の受取書に記名なつ印（お届け印）のうえ請求してください。

●金額を文字で記入する場合に使用する文字一覧・・・各用法共通

	1			2				3		4			5		6	
漢数字	壹	壺	弍	弍	弍	貳	貳	參	參	四	泗	肆	五	伍	六	陸
	7			8		9		10		100			1,000		10,000	
漢数字	七	漆	質	八	捌	九	玖	拾	仕	百	佰	陌	千	仟	阡	萬

（その他） 金、円、圓（円の異体字）、億

お取扱い上の誤り防止等のため、上表以外の異体字、崩し字のご使用はお控えください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

《 用 紙 見 本 》

<table border="1"> <tr><td>A00000</td></tr> <tr><td>令和〇年〇月〇日</td></tr> <tr><td>金額 円 ¥1,234,500</td></tr> <tr><td>渡 先</td></tr> <tr><td>摘 要</td></tr> </table>	A00000	令和〇年〇月〇日	金額 円 ¥1,234,500	渡 先	摘 要	<p style="text-align: center;">A00000 小 切 手</p> <p>支払地 00市00区00町0丁目</p> <p style="text-align: center;">〇〇〇信用金庫 本店営業部</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>金額 ¥1,234,500※</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 80px; margin: 0 auto;"> <p>QR コード</p> </div> <p style="text-align: center;">上記の金額をこの小切手と引換えに 持参人へお支払いください 拒絶証書不要 令和〇年〇月〇日</p> <p style="text-align: center;">〇〇市 振出人 何 某 ④</p>
A00000						
令和〇年〇月〇日						
金額 円 ¥1,234,500						
渡 先						
摘 要						

※横線は左上の小切手番号に重ならないようにご注意ください。

<table border="1"> <tr><td>約束手形 番号 A00000</td></tr> <tr><td>受取人 〇市〇区〇町〇丁目〇番地 〇〇株式会社</td></tr> <tr><td>金額 ¥1,234,500.-</td></tr> <tr><td>支払期日 令和〇年〇月〇日</td></tr> <tr><td>支払地 〇市</td></tr> <tr><td>支払場所 〇信用金庫本店営業部</td></tr> <tr><td>振出日 令和〇年〇月〇日 振出地 〇市</td></tr> <tr><td>備考</td></tr> </table>	約束手形 番号 A00000	受取人 〇市〇区〇町〇丁目〇番地 〇〇株式会社	金額 ¥1,234,500.-	支払期日 令和〇年〇月〇日	支払地 〇市	支払場所 〇信用金庫本店営業部	振出日 令和〇年〇月〇日 振出地 〇市	備考	<p>No. 約束手形 No.A00000</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>収入 〇市〇区〇町〇丁目〇番地 〇〇株式会社 殿</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>金額 ① ¥1,234,500※</p> </div> <p>支払期日 令和〇年〇月〇日</p> <p>支払地 〇市</p> <p>支払場所 〇信用金庫本店営業部</p> <p style="text-align: center;">上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引換えにお支払いいたします 令和〇年〇月〇日</p> <p>振出地 〇市〇区〇町〇丁目〇番地</p> <p>住所 〇市〇区〇町〇丁目〇番地</p> <p>振出人 〇〇株式会社 代表取締役 何 某 ②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 80px; margin: 0 auto;"> <p>QR コード</p> </div>
約束手形 番号 A00000									
受取人 〇市〇区〇町〇丁目〇番地 〇〇株式会社									
金額 ¥1,234,500.-									
支払期日 令和〇年〇月〇日									
支払地 〇市									
支払場所 〇信用金庫本店営業部									
振出日 令和〇年〇月〇日 振出地 〇市									
備考									

※訂正印は「金額欄」「QRコード欄」「支払場所」に重ねないでください。①

※発行印は「QRコード欄」に重ねないでください。②

<table border="1"> <tr><td>為替手形 番号 No. A00000</td></tr> <tr><td>振出日 令和〇年〇月〇日 振出地</td></tr> <tr><td>受取人 〇〇株式会社</td></tr> <tr><td>金額 ¥1,234,500.-</td></tr> <tr><td>支払期日 令和〇年〇月〇日</td></tr> <tr><td>支払地 〇市</td></tr> <tr><td>支払場所 〇信用金庫本店営業部</td></tr> <tr><td>支払人 (引受人) 〇〇株式会社</td></tr> <tr><td>備考</td></tr> </table>	為替手形 番号 No. A00000	振出日 令和〇年〇月〇日 振出地	受取人 〇〇株式会社	金額 ¥1,234,500.-	支払期日 令和〇年〇月〇日	支払地 〇市	支払場所 〇信用金庫本店営業部	支払人 (引受人) 〇〇株式会社	備考	<p>No. 為替手形 No.A00000</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>収入 〇市〇区〇町〇丁目〇番地 〇〇株式会社 殿</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>金額 ③ ¥1,234,000※</p> </div> <p>支払期日 令和〇年〇月〇日</p> <p>支払地 〇市</p> <p>支払場所 信用金庫本店営業部</p> <p style="text-align: center;">殿またはその指図人へこの 令和〇年〇月〇日 拒絶証書不要</p> <p>振出地 〇市〇区〇町〇丁目〇番地</p> <p>住所 〇市〇区〇町〇丁目〇番地</p> <p>振出人 〇〇株式会社 代表取締役 何 某 ④</p> <p>引受 令和〇年〇月〇日 〇〇株式会社 代表取締役 何某 ⑤</p>
為替手形 番号 No. A00000										
振出日 令和〇年〇月〇日 振出地										
受取人 〇〇株式会社										
金額 ¥1,234,500.-										
支払期日 令和〇年〇月〇日										
支払地 〇市										
支払場所 〇信用金庫本店営業部										
支払人 (引受人) 〇〇株式会社										
備考										

※文字による復記・補記（特に金額欄への記入）はしないでください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。